

第 16 回災害対策本部会議概要

日 時	令和元年 10 月 25 日 (金) 13 : 30
場 所	市役所本庁舎 2 階 特別会議室
出席者	市長、吉崎副市長、菅野副市長、各特別職、各部局長、経済産業省、国土交通省東北地方整備局、福島県、新潟県、久留米市、陸上自衛隊、郡山警察署、郡山北警察署、消防本部、郡山市消防団、郡山医師会、郡山市社会福祉協議会、西園敏弘日本大学工学部教授

【各部局長報告】

○生活環境部長

- ・災害ごみの収集状況は昨日まで累計で 2,852 t を搬出している。
- ・富久山スポーツ広場 (10/25) 中田スポーツ広場 (10/26) をそれぞれごみ仮置き場として供用する。
- ・収集車の混雑緩和、事故防止につなげる。

○保健福祉部長

- ・避難状況は 10/25 10 : 00 現在 429 名
- ・昨日、高瀬小等で 5 人体制で避難者の聞き取りを実施した。家財の片付けや、帰れない等の悩みがあった。

○産業観光部長

- ・昨日、中小企業庁長官来郡。中央工業団地等視察した。近隣自治体とともに商工業被害と地域経済への打撃等を説明、支援策の要望を行った。内容は W E B に掲載予定。

○税務部長

- ・り災証明書受付状況は 10/24 までで 5,365 件で、内訳は、床上 87%、床下 7%、その他 6%
- ・り災認定調査を昨日から実施している。昨日は 153 件。
現在 28 チームだが、第 2 クール (10/30) からは新潟県から 10 名追加、5 チームの体制でスピードアップを図る。
- ・り災証明書の発行にあたっては、付随するサービス案内も同封する。発行期日は未定だが、一日も早い発行を目指している。

○学校教育部長

- ・災害による児童欠席数 8 名。

○総務部長

- ・本日 15:00~18:00 に 3~5mm/h、その後は 30mm/h の雨もあり得る状況。
- ・水はけのわるい箇所は冠水の恐れあり。
- ・本日の気象状況を踏まえ、避難所 4 か所を追加した。
- ・今後、り災証明や消毒の本格化、住宅支援窓口等で、全庁的な応援が必要となる。来週以降はこれらにシフトしていく。
- ・被災者等、来庁者が増加しており、あいさつの励行を各職員に徹底願いたい。

○建設交通部

- ・被災 3 小学校（赤木、小泉、永盛）については、来週から復旧工事調査に入る。仮設電源等を用い、早期の復旧を図る。
- ・福島交通は現在 60 台のバスが稼働している。本日は河川状況を見ながら運行している。

○消防本部

- ・大雨警戒態勢を維持する。

○消防団本部

- ・阿武隈川近隣 6 地区隊に増員を指示した。

【リエゾンから】

○福島県警

- ・被災地パトカー、徒歩で警戒。夜間も実施している。

○自衛隊

- ・水門町、金屋地区のゴミ撤去を車輛 10 輛、120 名体制で継続中。
- ・高瀬小の入浴支援については、1 日 100 名程の利用者を継続中。

○経済産業省

- ・昨日の長官対応に感謝する。市要望に沿った対応を検討する。

○国土交通省東北地方整備局

- ・R 4 9 通行止（田村）は 10/31（木）目途に解除予定。
- ・本日、路面清掃は雨のため中止。水害に係る各調査は終了した。

○環境省

- ・災害ゴミの広域処理を継続中。

○福島県

- ・谷田川、藤田川の仮堤防整備が完了した。

○新潟県

- ・被災調査 2 日目。今後も全力で進める。
- ・被災証明書の発行システム、方法について資産税課と話を進めるが。マンパワーが必要となる。

○社会福祉協議会

- ・ボランティア活動引き続き実施する。
- ・26 日（金）からの新規加入者のボランティア活動保険料の無料受付を開始した。

○久留米市防災チーム

- ・3 名体制で応援に入った。

○日大工学部 西園教授

- ・23 日から日大東北高校が再開した。出席率は 96%。
- ・学生の被災状況調査開始した。宅建協会と連携し、学生アパート等検索予定。

【その他】

○村上上下水道管理者

- ・谷田川等、堤防の薄い箇所があり、今後河川事務所と協議する。

【市長より】

- ・今夜の雨のピーク量が多い。避難を早めに呼びかけること。
- ・長期の避難等に市民は疲れており、機敏な行動が困難。その意味でも早期避難の呼びかけが重要。
- ・被災地に近い帝京安積、日大の 2 階以上を避難所として提供いただき感謝申し上げる。
- ・地域で避難所情報が分からないと意味がないので、情報提供を行うこと。
- ・被災小学校の子どもたちは大変で、校長以下教師も気を遣っている。校舎の復旧時期など、できるだけ説明すること。
- ・国、県の支援がスピードアップしており、市側も速やかに支援を受けることができる体制を整えること。
- ・天気予報、気象情報には常に注視すること。
- ・報道内容は熟読し、きめ細かい取材内容を活かすこと。

○本部より

- ・次回会議は 10/28（月）15：00 から開催する。